

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標 ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	5,486,877	6,472,641	5,963,206
決算	6,710,823	6,903,643	
人件費(A)	95,100	97,200	117,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,805,923	7,000,843	6,080,806

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
現道改良の整備率	%	61.4	目標	60.3	60.8	60.9
			実績	60.4	60.8	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	道路関係調査事業			○		51,400	20,600	4.0			1.0
2	市道整備事業	○	○			1,212,510	1,193,610	2.5			0.5
3	国県道整備事業	○	○			1,004,072	985,172	2.5			0.5
4	道路整備推進事業					30,760	23,760	1.0			
5	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○	○		911,100	893,600	2.5			
6	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○	○		518,500	501,000	2.5			
7	過疎対策道路整備事業			○							
8	国直轄道路事業(負担金)					2,273,833	2,270,333	0.5			
9	道路企画運営経費(一般諸経費のみ)					78,631	75,131	0.5			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						6,080,806	5,963,206	16.0			2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 道路関係調査事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行い、具体的な対策案を策定する。

◇事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、東名三方原SIC 開通の効果検証を行う。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

H27より浜松三ヶ日・豊橋道路事業化に向け、「静岡・愛知県境道路に関する連絡会」にて、前回調査(H20～25)以降の新たな知見(国土のグランドデザイン2050等⇒人口減少・コンパクト+ネットワーク)を踏まえ、当該道路の必要性・重要性を再検証し、地域への影響・効果調査を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	76,400	76,400	20,600
	決算	78,258	56,488	
	国・県支出	4,350	1,404	2,200
	市債			
	その他			
	一般財源	73,908	55,084	18,400
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		27,100	16,600	30,800
人工	正規	3.5	2.0	4.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	1.0	1.0	
	非常勤			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を行った。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

H27より浜松三ヶ日・豊橋道路事業化に向け、「静岡・愛知県境道路に関する連絡会」にて、前回調査(H20～25)以降の新たな知見(国土のグランドデザイン2050等⇒人口減少・コンパクト+ネットワーク)を踏まえ、当該道路の必要性・重要性を再検証し、地域への影響・効果を取りまとめた。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・当初の計画通り、事業効果の検証を行った。引き続き、継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・j事業効果を把握するために、継続して調査を行う。

事業シート (事業名) 市道整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

◇事業の概要

市道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 2路線 ・国交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 地方創生道整備推進交付金事業 道路改良(実施中) 4路線 ・単独事業
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	728,684	1,249,885	1,193,610
	決算	1,018,339	986,529	
	国・県支出	198,571	251,067	335,500
	市債	310,500	429,600	300,100
	その他			
	一般財源	509,268	305,862	558,010
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		19,300	15,800	18,900
人工	正規	2.5	2.0	2.5
	再任用(h31)	0.5	0.5	
	再任用(h26)			
	非常勤			0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
道路改良率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.3	59.6	60.0			60.4
実績値	59.5	60.0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

市道整備事業	・国交付金事業 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 2路線
	・国交付金事業 地方創生道整備推進交付金事業 道路改良(実施中) 4路線
	・単独事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工

・生活道路である市道改良の推進を図った。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業用地を確保し、生活道路である市道の改良に今後も継続して取り組む。

事業シート (事業名) 国県道整備事業

◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

◇事業の概要

国県道整備事業

- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 国道:道路改良(実施中) 3路線 6工区
 - 県道:道路改良(実施中) 4路線 4工区
- ・市単独事業
- ・防衛施設周辺整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	996,478	1,113,225	985,172
	決算	1,945,826	1,359,455	
	国・県支出	581,296	350,506	336,559
	市債	531,900	415,500	244,900
	その他			
	一般財源	832,630	593,449	403,713
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		12,300	15,800	18,900
人工	正規	1.5	2.0	2.5
	再任用(h31)	0.5	0.5	
	再任用(h26)			
	非常勤			0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
道路改良率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	68.6	68.8	69.0			69.6
実績値	68.7	69.0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

国県道整備事業	・国交付金事業 社会資本整備総合交付金事業 国道:道路改良(実施中) 1路線 3工区 県道:道路改良(実施中) 3路線 3工区 ・市単独事業 ・防衛施設周辺整備事業
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

・事業の成果と課題

指標の達成度 <input type="text" value="計画通り"/>
・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・事業の見直し

実施結果 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網お整備を進める。
今後の方向性 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網お整備を進める。

事業シート (事業名) 道路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

◇事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	35,313	36,640	23,760
	決算	18,811	31,989	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	18,811	31,989	23,760
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H31	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	609,108	1,053,024	893,600
	決算	991,880	1,549,914	
	国・県支出	434,694	616,992	292,050
	市債	482,900	846,300	549,300
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	74,286	86,622	52,250
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	17,500	17,500
人工	正規	1.2	2.5	2.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				Ⅲ-1(1)イ		83
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	52	69	70	87	100	100
実績値	25	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートICのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行い、三方原スマートICは予定通り開通した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

(仮称)館山寺スマートICについては、土質調査の結果、軟弱地盤であることが判明し、本体構造形式の再検討に時間を要し、事業用地の取得の着手が遅れた。引き続き、早期の供用開始を目指していく。

また、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:平成31年度)の進捗が遅れているが早期の供用開始を目指していく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・NEXCO中日本と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・NEXCO中日本と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

平成29年度

(管理番号)
03 04 02 01 002314000 05

(担当課)
道路企画課

(責任者)
菅谷 昌彦

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
83	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体 ●三方原SIC供用開始	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体 ●館山寺SIC供用開始

事業シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	126,803	404,980	501,000
	決算	104,334	380,921	
	国・県支出	6,600	126,500	214,500
	市債	4,800	101,900	157,900
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	92,934	152,521	128,600
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,900	17,500	17,500
人工	正規	0.7	2.5	2.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
現道改良区間整備率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	20	13			100
実績値	10	11				
佐久間道路ICアクセス整備率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	40	70	100		100
実績値	20	35				
[指標なし]						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
[指標なし]						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】
・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【重点戦略項目No.83】
・国道152号現道改良区間(水窪北IC～水窪IC)は、概略設計に引き続き、詳細設計を進めている。
・(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセス道路は、三遠南信自動車道東栄IC～佐久間ICのH30開通に合わせ、整備を進める。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
・三遠南信自動車道の開通に向け、国土交通省と連携し事業進捗調整を図った。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
・国土交通省と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
	<現道改良区間整備> 道路・構造物設計 用地・物件調査	道路・構造物設計 用地・物件調査 用地買収 物件補償	改良工事着手 用地買収 物件補償	工事施工 用地買収 物件補償
83	<ICアクセス整備> 工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 供用

事業シート (事業名) 過疎対策道路整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路整備事業の推進を図る。

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	過疎地域自立促進特別措置法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	92,120		
	決算	79,949	7,880	
	国・県支出			
	市債	77,300	7,800	
	その他			
	一般財源	2,649	80	
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600		
人工	正規	0.8		
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
完了路線数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・地域要望の高い路線を抛出し、国交付金事業等の採択要件を満たさない箇所に対し、緊急性や必要性等を判断の上、事業を実施するものであり、過疎地域において過疎地域自立促進特別措置法に位置付けられた「浜松市の過疎地域自主促進計画」に基づき事業を推進している。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工

・過疎地域の生活支援のため現状確保が必要である。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路整備事業の推進に努める。

事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

◇事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,761,000	2,487,000	2,270,333
	決算	2,422,662	2,485,775	
	国・県支出			
	市債	2,206,700	2,258,500	2,043,200
	その他			
	一般財源	215,962	227,275	227,133
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

①国道474号

○三遠・佐久間道路地域連携推進事業

○青崩峠道路地域連携推進事業

②国道1号

○維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

事業シート (事業名) 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	60,971	51,487	75,131
	決算	50,764	44,690	
	国・県支出			
	市債			
人件費(報酬等) (千円)	その他			
	一般財源	50,764	44,690	75,131
	一般会計繰入金			
人工	人件費 (千円)	7,000	3,500	3,500
	正規	1.0	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,720,344	2,280,283	2,627,202
決算	2,064,657	1,940,991	
人件費(A)	31,500	17,500	14,000
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,096,157	1,958,491	2,641,202

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
都市計画道路の整備率	%	65.5(H30)	目標	64.2	64.2	64.9
			実績	64.2	64.2	
天竜川駅周辺整備事業 事業費ベースの進捗率	%	100	目標	17.8	42.0	88.6
			実績	17.8	42.0	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

都市計画道路の整備を進める事により、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		1,083,192	1,076,192	1.0				
2	街路整備推進事業					8,000	8,000					
3	天竜川駅周辺整備事業	○	○	○		1,519,257	1,515,757	0.5				
4	鉄道施設安全対策助成事業					20,167	20,167					
5	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)					10,586	7,086	0.5				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,641,202	2,627,202	2.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
 ・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,130,681	1,298,750	1,076,192
	決算	1,518,133	1,079,671	
	国・県支出	772,683	475,556	519,685
	市債	598,300	419,200	382,400
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	147,150	184,915	174,107
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		14,000	7,000	7,000
人工	正規	2.0	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
整備率(%)				-		82
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	64.2	64.2	64.9	65.5		
実績値	64.2	64.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)				Ⅲ-4(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	26	26		30	30
実績値	26	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

都市計画道路の整備を進める事により、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

平成29年度

(管理番号)
03 04 02 02 002314000 01

(担当課)
道路企画課

(責任者)
菅谷 昌彦

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
82	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事

事業シート (事業名) 街路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	14,200	9,220	8,000
	決算	8,435	5,743	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,435	5,743	8,000
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	
人工	正規	0.5	0.5	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

今後も継続して事業に取り組んで行く。

事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	567,998	813,560	1,515,757
	決算	532,519	812,159	
	国・県支出	248,182	381,150	789,066
	市債	241,400	380,600	581,000
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	42,937	50,409	145,691
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		10,500	3,500	3,500
人工	正規	1.5	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				-		85
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	17.8	42.0	88.6	100		100
実績値	17.8	42.0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
主要な駅、バス停の利用者(千人)				Ⅲ-4(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
実績値	27,017(H26実績) 27,575(H27実績)					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の整備を進める事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を回り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

平成29年度

(管理番号)
03 04 02 02 002314000 03

(担当課)
道路企画課

(責任者)
菅谷 昌彦

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
85	仮駅舎建築	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事 仮駅舎解体 ●供用開始	南北駅前広場築造工事 ●供用開始

事業シート (事業名) 鉄道施設安全対策助成事業

◇事業目的・事業対象

大規模地震による鉄道施設の被害の拡大や未然防止を目的とする鉄道施設安全対策事業要する経費の一部を、国と協調して補助することで、鉄道利用者の安全確保や発災時の緊急応急活動の機能確保を図る。

◇事業の概要

橋脚補強8基、駅舎柱補強4基

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H28	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		151,667	20,167
	決算		38,072	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源		38,072	20,167
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

橋脚補強8基、駅舎柱補強4基

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	7,465	7,086	7,086
	決算	5,570	5,346	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,570	5,346	7,086
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果
大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性
大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

今後も継続して事業に取り組んで行く。

政策シート

(政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策助成)

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,016,163	1,091,987	963,171
決算	937,491	1,060,710	
人件費(A)	31,880	28,020	31,180
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	969,371	1,088,730	994,351

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
河川の整備率	%	83	目標	38.0	43	46
			実績	36.7	39	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策助成)

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

・効率的な浸水対策を進めるための「総合浸水対策計画」の策定における基礎調査を完了、基本方針案を立案した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	河川改良事業				○	954,980	935,380	2.8				
2	浸水対策設備調査事業	○			○	22,224	20,124	0.3				
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)					17,147	7,667	1.2	0.3			
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						994,351	963,171	4.3	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 河川改良事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による浸水被害を防止・軽減するため、調査・検討を行い、計画的に河川・排水路の改修を実施する。

◇事業の概要

- ◆国交付金事業
 - ・(二)九領川 改修
- ◆単独事業
 - ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
 - ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,002,000	1,068,900	935,380
	決算	928,443	1,046,983	
	国・県支出	27,280	23,160	38,666
	市債	10,500	405,900	17,400
	その他	9,000	350,000	629,000
	一般財源	881,663	267,923	250,314
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		21,700	16,800	19,600
人工	正規	3.1	2.4	2.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
河川の整備率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	38.0	43	46		58	83
実績値	36.7	39				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ◆国交付金事業
- ・(二)九領川 改修
- ◆単独事業 [決算1,013,223千円(うち前年度繰越258,946千円)]
- ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
- ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・効率的な浸水対策を進めるための「総合浸水対策計画」の策定における基礎調査を完了、基本方針案を立案した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・河川改修の実施
- ・高塚川流域浸水対策アクションプラン策定完了
- ・総合雨水対策の基礎調査完了、基本方針案を立案

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・河川改良(交付金事業・単独事業)実施
- ・総合雨水対策の「重点エリア計画」の策定。
- ・河川改修における関係機関との調整、事業計画策定のため、人工を拡大する。

事業シート (事業名) 浸水対策設備調査事業

◇事業目的・事業対象

・行政による浸水対策を補完するため、市民の自助・共助による対策を支援する。

◇事業の概要

・浸水被害地域の自治会の要望に応じて、土のうステーションを設置、運用する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,000	14,013	20,124
	決算	2,754	7,119	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,754	7,119	20,124
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,400	2,800	2,100
人工	正規	0.2	0.4	0.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
浸水対策助成制度(土のうステーション)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	制度策定	63箇所	51箇所			
実績値	策定	40箇所				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	77.0	78.0	79.0		80.0	
実績値	77.5	78.6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・浸水被害地域の自治会の要望に応じて、土のうステーションを設置、運用する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・土のうステーションをモデル地区(可美・新津・長上)で運用を開始した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・土のうステーションをモデル地区(可美・新津・長上)で運用を開始した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・土のうステーションを他の浸水被害地区へ展開する。
・土のうステーションを区役所に設置して、広域的な運用を図る。

事業シート

(事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	9,163	9,074	7,667
	決算	6,294	6,608	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,294	6,608	7,667
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,780	8,420	9,480
人工	正規	1.1	1.1	1.2
	再任用(h31)	0.3	0.2	0.3
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
 (港湾整備)

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	25,600	68,310	26,400
決算	8,165	18,025	
人件費(A)	3,500	3,860	3,160
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,665	21,885	29,560

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
港湾施設(導流堤)の改良率	%	100	目標	10	15	23
			実績	10	16	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
 (港湾整備)

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
 県浜名港港湾施設整備事業
 (内容 今切口東導流堤老朽化対策)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	港湾整備事業				○	29,560	26,400	0.4	0.1			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						29,560	26,400	0.4	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 港湾整備事業

◇事業目的・事業対象

浜名湖(二級河川 都田川)内にある県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止をに寄与する。

◇事業の概要

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	25,600	68,310	26,400
	決算	8,165	18,025	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,165	18,025	26,400
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,860	3,160
人工	正規	0.5	0.5	0.4
	再任用(h31)		0.1	0.1
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
港湾施設(導流堤)の改良率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	15	23			100
実績値	10	16				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

・事業の成果と課題

指標の達成度

港湾施設(導流堤)の改良
今切口東導流堤老朽化対策

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出。

政策シート

(政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	135,364	166,377	165,684
決算	165,288	59,804	
人件費(A)	2,100	2,100	2,100
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	167,388	61,904	167,784

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
都市下水路の整備率	%	100	目標	65	80	85
			実績	66.3	75	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・西美園都市下水路整備継続
- ・御前谷都市下水路の部分改良を計画(医療センター新病棟建設関連)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	都市下水路整備事業					167,784	165,684	0.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						167,784	165,684	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市下水路整備事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による市街地の浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修を実施する。

◇事業の概要

◆単独事業
・西美蘭都市下水路、御前谷都市下水路

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38		一般会計	自治事務	下水道法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	135,364	166,377	165,684
	決算	165,288	59,804	
	国・県支出			
	市債	126,200	54,900	119,700
	その他		2,000	38,000
	一般財源	39,088	2,904	7,984
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
都市下水路の整備率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	65	80	85			100
実績値	66.3	75				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ◆単独事業
- ・西美蘭都市下水路

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・西美蘭都市下水路整備継続
- ・医療センター新病棟建設に合わせて、御前谷都市下水路の部分改良を計画

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・西美蘭都市下水路整備

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・西美蘭都市下水路整備の推進
- ・御前谷都市下水路整備に着手(医療センター新病棟建設関連)